

総合加工体制で対応力を発揮

木軸パネルの新工場完成

スカイ

スカイ（静岡県磐田市、金澤和孝社長）きた設備投資により生産効率の高いラインを構築し、一般住宅から大型木造建築物まで多様な需要に対応している。2022年度の稼働率を目標としていく。同社は天竜川沿いの万坪（前年豊岡エリアで本社工場増）で、ウツドショツク（反動カ）の回復が反映された。一方、加工工実績の約



新設のスカイパネル製造工場

置、グレーディング機能付きの4面ブリーナーなどをそろえて、特にCLTや大断面材等に対しては、全自動6軸加工機（ユニチーム製）を活用して、最大で材厚600×材せい3000×X全長14mまで対応している。

板の面材に四方碎材と断熱材を取り付けた真壁タイプの壁パネルで、工場生産による安定品質と性能を軸に、短工期や省力化、現場の廃棄物削減などに貢献する。

積1165平方メートルは、CAD連動で製造して船明拠点内に完成し、他のプレカット材と同断熱材加工機や自動フレーミングマシン、シーリングマシンを導入して今春から本格稼働を開始した。

パネルは3×8×10を主体で、同社では省人化と効率化を図るべく、工場の加工設備として、在来・金物両方で対応できる体制が特徴だ。2022年度は8万2516坪（前年度比7.2%減）のプレカット加工実績をはじめ、5軸特殊加工機、羽柄材加工機、注文住宅の需要後退が影響したが、非住宅関係は前年度比約3割増と順調だった。今年度も引き続き非住宅物件に積極的に対応していく。特に、大型汎用加工機「フンデガーK21MAX」はCLTを合わせた長尺・大断面材まで安定的に加工でき、住宅・非住宅物件

パネルや階段ユニットも手掛る

大型非住宅の建て方まで総合対応

セブン工業

セブン工業（岐阜県美濃加茂市、木下浩一社長）は、本社の総合拠点でプレカット工場

を運営しており、一般住宅から大型非住宅物件まで建て方を含めて総合対応できる体制が特徴だ。2022年度は8万2516坪（前年度比7.2%減）のプレカット加工実績をはじめ、5軸特殊加工機、羽柄材加工機、注文住宅の需要後退が影響したが、非住宅関係は前年度比約3割増と順調だった。今年度も引き続き非住宅物件に積極的に対応していく。特に、大型汎用加工機「フンデガーK21MAX」はCLTを合わせた長尺・大断面材まで安定的に加工でき、住宅・非住宅物件

上田大才（株）/ 代表取締役社長 上田大才（株）/ 代表取締役社長